

#2

S&H Form: (2/01)

Attorney Docket No. 1046.1258

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Isao FUNAKI

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: July 23, 2001

Examiner:

For: INFORMATION PROVIDING SERVER, INFORMATION PROVIDING METHOD FOR
SERVER, INFORMATION PROVIDING SYSTEM, AND COMPUTER READABLE
MEDIUM

31017 U.S. PTO
09/910055
07/23/01

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith
a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-055148

Filed: February 28, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the
requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: July 23, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

OP120/

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-055148

出 願 人

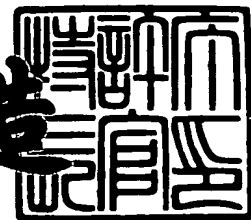
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 4月27日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3035076

【書類名】 特許願

【整理番号】 0052386

【提出日】 平成13年 2月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 情報提供サーバ，サーバの情報提供方法，情報提供システム，及びコンピュータ読取可能な記録媒体

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 舟木 勇夫

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089244

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 遠山 勉

【選任した代理人】

 【識別番号】 100090516

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松倉 秀実

 【連絡先】 03-3669-6571

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012092

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

特 2 0 0 1 - 0 5 5 1 4 8

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705606

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供サーバ、サーバの情報提供方法、情報提供システム、及びコンピュータ読取可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報をクライアントにネットワークを通じて提供するサーバであって、

前記クライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信部と、

前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得部と、

取得された情報を前記クライアントに送信する送信部と、
を含む情報提供サーバ。

【請求項 2】 クライアントに提供すべき複数の情報を格納したデータベースをさらに含み、

前記取得部は、前記アクセス場所情報に対応する情報を前記データベースから取得する、請求項 1 記載の情報提供サーバ。

【請求項 3】 前記取得部は、取得した情報を含むウェブページのファイルを作成し、

前記送信部は、作成されたファイルを前記クライアントに送信する、
請求項 2 記載の情報提供サーバ。

【請求項 4】 内容が異なる複数のウェブページのファイルを格納したデータベースをさらに含み、

前記取得部は、前記アクセス場所情報に対応するファイルを前記データベースから取得し、

前記送信部は、取得されたファイルを前記クライアントに送信する、
請求項 1 記載の情報提供サーバ。

【請求項 5】 前記情報は、ウェブページの格納場所を示す情報である、
請求項 1 記載の情報提供サーバ。

【請求項 6】 前記データベースは、異なる言語で表現された同一の情報を夫々含む複数のウェブページのファイルを格納する、

請求項4記載の情報提供サーバ。

【請求項7】サーバが情報をクライアントにネットワークを通じて提供する方法であって、

前記クライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信ステップと、

前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得ステップと、

取得した情報を前記クライアントに送信する送信ステップと、
を含むサーバの情報提供方法。

【請求項8】クライアントと、このクライアントにネットワークを通じて情報を提供するサーバとを含むシステムであって、

前記クライアントは、このクライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記サーバに送信し、

前記サーバは、前記提供要求を受信し、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得し、取得した情報を前記クライアントに送信する、情報提供システム。

【請求項9】サーバが情報をクライアントにネットワークを通じて提供する処理を実行するためのプログラムを記録した記録媒体であって、

サーバを構成するコンピュータに、

前記クライアントの前記ネットワークに対するアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信ステップと

前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得ステップと、

取得したコンテンツを前記クライアントに送信する送信ステップと、
を実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項10】サーバが情報をクライアントにネットワークを通じて提供する処理を実行するためのプログラムであって、

サーバを構成するコンピュータに、

前記クライアントの前記ネットワークに対するアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信ステップと、

前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得ステップと、
取得したコンテンツを前記クライアントに送信する送信ステップと、
を実行させるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クライアントからの要求に応じた情報を提供する情報提供サーバ、
サーバの情報提供方法、情報提供システム、及びコンピュータ読取可能な記録媒
体に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの普及により、ワールドワイドウェブ(WWW)システム
(「Webシステム」とも呼ばれる)の利用者が増加している。Webシステムは
、Webクライアント(Webブラウザ)と、Webブラウザとインターネットを
通じて接続され、Webブラウザからの要求に応じたコンテンツを提供するWe
bサーバとを含む。コンテンツは、テキスト、イメージ(動画を含む)、音声等で
表現される情報又は情報の集合体と定義することができる。

【0003】

ユーザは、例えば、テキストやイメージで表現されたコンテンツの提供を要求
する場合には、Webブラウザの操作によって、所望のコンテンツが掲載された
WebページのURL(Uniform Resource Locator)を指定する。指定されたUR
Lは、Webサーバに与えられる。Webサーバは、URLを受け取ると、UR
Lに対応するWebページをWebブラウザに提供する。Webブラウザは、提
供されたWebページを表示する。ユーザは、Webページを閲覧することによ
って、テキストやイメージで表現されたコンテンツを得ることができる。

【0004】

ユーザは、Webページを閲覧する場合には、Webページに対応するURL
を指定しなければならない。この指定作業において、ユーザがURLを閲覧毎に
入力するのは面倒なので、WebブラウザはURLの登録機能を備えている。代

表的なURLの登録機能は、ネットスケープ・コミュニケーションズ社の「Netscape Navigator」に設けられた“ブックマーク”，及びマイクロソフト社の「Internet Explorer」に設けられた“お気に入り”である。ユーザは、登録機能を用いてURLを登録すると、登録されたURLを必要に応じて呼び出し、呼び出したURLをマウスクリック等のような簡単な操作で指定することができる。

【0005】

Webブラウザの登録機能では、登録されたURLのリストは、Webブラウザ毎に管理される。従って、ユーザは、複数のWebブラウザを用いる場合には、URLのリストをWebブラウザ毎に管理しなければならない。従って、ユーザは、全てのWebブラウザを同じ環境で使用する場合には、何れかのWebブラウザのリストを更新すると、他のWebブラウザのリストについて同じ更新作業を行わなければならなかった。この問題は、複数のWebブラウザが同種類のWebブラウザであっても、複数のWebブラウザが同じインターネットのクライアントに搭載されている場合でも同様であった。

【0006】

上記問題に鑑み、ユーザがURLのリストを掲載したWebページをWebサーバに保持させ、各Webブラウザを用いて当該Webページを取得する方法が実施されている。Webページには、登録されたURLのリストが掲載される。ユーザは、マウスクリック等の簡単な操作でリスト中のURLを指定することができる。この方法によれば、ユーザは、使用するWebブラウザに関係なく、共通なURLのリストを使用することができる。また、ユーザは、URLのリストを一元的に管理することができる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

従来、URLのリストをWebサーバに保持させた場合、Webサーバから提供されるリストの内容は、ユーザがどこからインターネットにアクセスした(接続した)場合でも同じであった。

【0008】

しかしながら、インターネットへのアクセス場所によっては、リストが無駄な

情報を含むことになることがあった。例えば、ユーザは、ファイアウォール外からインターネットにアクセスしている場合には、ファイアウォール内のURLを指定しても、ファイアウォールによって、当該URLへアクセスすることができない。このとき、Webサーバから取得したリストにファイアウォール内のURLの情報が含まれている場合には、そのURLの情報は無駄となる。

【0009】

また、WWWシステムの利用目的は、ユーザのアクセス場所によって異なることが多い。例えば、ユーザが自宅と外出先(例えば、学校、会社等)で夫々WWWシステムを利用する場合には、閲覧対象となるWebページは異なることが多い。例えば、ユーザが自宅からWWWシステムを利用する場合には、業務に係るWebページは殆ど閲覧せず、学校や会社でWWWシステムを利用する場合には、ユーザの趣味に係るWebページは殆ど閲覧しないものと考えられる。

【0010】

従って、ユーザの趣味に係るURLと業務に係るURLとがリストに含まれている場合には、ユーザが自宅でリストを閲覧する場合には、業務に係るURLは無駄な情報となっていた。一方、ユーザが会社でリストを閲覧する場合には、趣味に係るURLは無駄な情報となっていた。

【0011】

このように、従来では、Webサーバがユーザのインターネットへのアクセス場所に応じたコンテンツ(情報)を提供するという考え方がなかった。このため、ユーザが不要な情報を受け取ってしまうことがあった。

【0012】

本発明の目的は、ユーザがそのアクセス場所に応じた情報を受け取ることが可能な情報提供サーバ、サーバの情報提供方法、情報提供システム、及びコンピュータ読取可能な記録媒体を提供することである。

【0013】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上述した目的を達成するために以下の構成を採用する。

【0014】

即ち、本発明は、情報をクライアントにネットワークを通じて提供するサーバであって、前記クライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信部と、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得部と、取得された情報を前記クライアントに送信する送信部と、を含む。

【 0 0 1 5 】

本発明によれば、クライアントからの情報の提供要求に対し、クライアントのアクセス場所情報に対応する情報がクライアントに提供される。これによって、ユーザは、クライアントのアクセス場所に応じた情報を得ることができる。

【 0 0 1 6 】

従って、例えば、情報としてウェブページの格納場所を示す情報(例えば、URL)を適用すれば、クライアントのユーザは、アクセス場所に応じた(無駄な情報が省かれた)ウェブページの格納場所を示す情報を得ることができる。

【 0 0 1 7 】

本発明による情報提供サーバは、前記取得部が前記提供要求に対応するが前記アクセス場所情報に対応しない情報をさらに取得し、前記送信部は前記アクセス場所情報に対応する情報と対応しない情報とを前記クライアントのユーザが区別可能な状態で前記取得された情報を前記クライアントに送信する構成とすることもできる。

【 0 0 1 8 】

本発明は、上記したサーバがクライアントに情報を提供する方法、上記サーバとクライアントとを含む情報提供システム、サーバに情報提供処理を実行させるためのプログラム、及びこのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体として特定することもでき、これらによっても本発明の目的を達成することができる。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施形態を説明する。以下の実施形態は本発明の例示であり、本発明は実施形態に限定されない。

【 0 0 2 0 】

〔第 1 実施形態〕

＜システム構成＞

図 1 は、本発明の第 1 実施形態によるコンテンツ提供システムの構成例を示す図である。図 1 に示すシステムは、或るユーザが使用頻度の高い URL のリストを WWW サーバ (W e b サーバ) 4 に登録しておき、クライアント 1 又はクライアント 2 を操作して参照する WWW システム (W e b システム) である。

【 0 0 2 1 】

図 1 において、システムは、或るユーザの自宅に配置されたクライアント (W W W クライアント) 1 と、ユーザが勤務する会社に配置された複数のクライアント 2 がインターネット 3 を通じて WWW サーバ (W e b サーバ) 4 に接続されることによって構成されている。

【 0 0 2 2 】

クライアント 1, 2 が本発明のクライアントに相当し、インターネット 3 が本発明のネットワークに相当する。また、W e b サーバ 4 が本発明の情報提供サーバに相当する。但し、本発明の情報提供サーバは、W e b サーバとアプリケーションサーバとの組み合わせ、或いは、W e b サーバ、アプリケーションサーバ、及びデータベースサーバの組み合わせによって実現することもできる。

【 0 0 2 3 】

＜クライアント＞

クライアント 1 及び各クライアント 2 は、インターネット 3 に対する端末装置であり、例えば、パーソナルコンピュータ (P C), ワークステーション (W S), モバイルコンピュータ, P D A (Personal Digital Assistants), 携帯電話端末, P H S (Personal Handyphone System) を適用することができる。この例では、クライアント 1 は、P C を用いて構成されている。

【 0 0 2 4 】

クライアント 1 のインターネット 3 への接続形態は、ダイヤルアップ I P 接続 (電話網, I S D N), 専用線接続, C A T V 回線接続, A D S L 接続, 衛星を通じた接続等を適用することができる。この例では、クライアント 1 は、電話網を

用いたダイヤルアップIP接続でインターネット3に接続される。

【0025】

一方、各クライアント2は、PCを用いて構成されており、会社に構築されたイントラネット5Aの端末装置として機能する。イントラネット5Aは、専用線接続により、ファイアウォール5を介してインターネット3に接続されている。

【0026】

クライアント1及びクライアント2を構成する各PCは、図示しないが、CPU(Central Processing Unit)と、CPUの作業領域として使用されるメインメモリと、PCがクライアント1として機能するためのプログラム(クライアントプログラム)及びデータを記憶した補助記憶装置と、PCにデータや命令を入力するための入力装置(キーボード及びマウス等のポインティングデバイス)と、CPUによるプログラムの実行結果を表示するディスプレイ装置(陰極線管(CRT)、液晶ディスプレイ(LCD)、プラズマディスプレイ等)と、通信制御装置(CCU)とを備えている。

【0027】

補助記憶装置に記憶されたクライアントプログラムは、クライアント1をWebブラウザ6として機能させるブラウザプログラムと、Webサーバ4との通信に必要な通信プロトコル(TCP/IP, PPP, HTTP等)を実現する通信プログラム等からなる。

【0028】

CPUがブラウザプログラムをメインメモリにロードして実行すると、クライアント1は、Webブラウザ6として機能する。Webブラウザ6は、Webサーバ4に対してWebページの提供を要求する処理、Webサーバ4から提供されたWebページを表示装置に表示する処理等を司る。通信プログラムは、Webブラウザ6による処理の際に、必要に応じて実行される。

【0029】

<Webサーバ>

Webサーバ4は、専用のサーバマシン、PC、WS等を用いて構成することができる。この例では、専用のサーバマシンを用いて構成されている。サーバマ

シンは、少なくともCPU、メインメモリ、CCUを含む制御装置4Aと、補助記憶装置4Bとを備え、必要に応じて入力装置及び表示装置が設けられる。

【0030】

補助記憶装置4Bは、サーバマシンがWebサーバ4として機能するための複数のプログラムと、各プログラムの実行に際して使用されるデータとを格納している。

【0031】

複数のプログラムは、HTTPサーバプログラム、CGI(Common Gateway Interface)プログラム(CGISクリプト及びCGI実現の為に動作するアプリケーションプログラム)、Webサーバ4の通信に関する通信プロトコル(TCP/IP, HTTP, FTP等)を実現するためのプログラム(通信プログラム)等からなる。

【0032】

制御部4AのCPUが、補助記憶装置4Bに記憶されたHTTPサーバプログラムをメインメモリにロードして実行することにより、HTTPサーバ7が実現される。また、制御部4AのCPUは、CGIプログラムを実行することによって、URL管理部8を実現する。

【0033】

また、補助記憶装置4Bは、IPアドレス-URL対応データベース10、URLデータベース11、及びHTMLデータベース12を保持する。これらのデータベース10～12は、HTTPサーバプログラム及びCGIプログラムの実行に際して使用されるデータを格納する。

【0034】

なお、HTTPサーバ7が、本発明の受信部及び送信部に相当し、URL管理部8が、本発明の取得部に相当する。また、データベース10,11が本発明のデータベースに相当する。

【0035】

〈動作例〉

次に、図1に示したコンテンツ提供システムの動作例を説明する。

【0036】

(コンテンツのアップロード)

最初に、コンテンツのアップロード(ユーザによるURLの登録処理)の際におけるコンテンツ提供システムの動作例を説明する。ユーザは、使用頻度の高いWebページのURLをクライアント1とクライアント2とで同じ環境で登録したい場合には、登録対象のURLをWebサーバ4に登録(アップロード)する。

【0037】

即ち、ユーザは、登録対象のURLをアップロードする場合には、クライアント1又はクライアント2を操作し、Webブラウザ6を起動する。次に、ユーザは、入力装置を操作し、URLを登録するためのWebページ(登録ページ)の提供要求として、第1登録ページ13(図2参照)のURL(この例では、“http://www.homepage2.nifty.com/regist1/”)を指定する。指定方法は、URLの文字列入力でも、登録機能を用いた指定であっても良い。

【0038】

すると、Webブラウザ6は、クライアント1をインターネット3に接続し、第1登録ページ10のURLをWebサーバ4に送信する。送信されたURLは、インターネット3を通じてWebサーバ4に受信される。

【0039】

Webサーバ4のHTTPサーバ7は、URLを受け取ると、このURLに対応するWebページの提供をURL管理部8に依頼する。URL管理部8は、URLに対応するWebページのHTMLファイルを取得する。

【0040】

即ち、HTMLデータベース12は、URLに対応するHTMLファイルを格納している。URL管理部8は、URLを検索キーとしてHTMLデータベース12を検索し、第1登録ページ10のHTMLファイルを取り出し、取り出したHTMLファイルをHTTPサーバ7に渡す。

【0041】

HTTPサーバ7は、URL管理部8から受け取ったHTMLファイルに対応するWebブラウザ6に転送する。Webブラウザ6は、HTMLファイルを受

け取ると、HTMLファイルの記述に従って、第1登録ページ10を表示装置に表示する。

【0042】

このとき、Webブラウザ6は、受け取ったHTMLファイルにイメージファイル、動画ファイル、音声ファイル等が関連づけられている場合には、関連づけられたファイルの提供をWebサーバ4に要求し、Webサーバ4は、要求に対応するファイルをWebブラウザ6に提供する。

【0043】

Webブラウザ6は、提供されたファイルをWebページに反映させる。即ち、Webブラウザは、イメージファイルに基づく画像、及び／又は動画ファイルに基づく動画をWebページに表示する。また、音声ファイルに基づく音声をクライアントに設けられたスピーカから出力する。

【0044】

図2は、Webブラウザ6によって表示される第1登録ページ13の画面表示例を示す図である。図2において、第1登録ページ13は、登録対象のURLの入力欄14と、このURLにアクセス可能なIPアドレス(クライアントの送信元アドレス)の入力欄15と、登録ボタン16とを備えている。登録ボタン16は、第2登録ページ17(図3参照)のURL(この例では、“<http://www.homepage2.nify.com/regist2/>”)にリンクされている。

【0045】

ユーザは、入力装置の操作によって、入力欄14及び入力欄15に登録対象のURLとIPアドレスとを夫々入力する。即ち、ユーザは、アクセス場所に相当するIPアドレスと、アクセス場所に対応するURLとを入力する。この登録対象のURLが本発明における情報に相当する。

【0046】

このとき、ユーザは、アクセス可能な、又はアクセスさせたいIPアドレスを入力欄15に入力する。ここで、ユーザは、IPアドレスの範囲を指定することもできる。ユーザは、IPアドレスの範囲を指定する場合には、IPアドレス中のバイトが任意であることを示す文字(例えば、“*”)を入力する。

【0047】

例えば、ユーザは、登録対象のURLについてアクセス場所を問わずアクセスを許可する場合には、IPアドレスとして“*.*.*.*”を指定する。或いは、ユーザは、ネットワークアドレス(「サイト」又は「ドメイン」ともいう)“202.105.xxx.yyy”からのアクセスを許可する場合には、IPアドレスとして“202.105.*.*”を指定する。

【0048】

これによって、クライアント1のユーザは、契約を結んでいるインターネット・サービス・プロバイダ(ISP)に割り当てられているグローバル・IPアドレス(ネットワークアドレス)のみを指定することができる。

【0049】

上記したように、IPアドレスの範囲を指定することによって1つのURLに対して複数のIPアドレスを指定することができる。但し、この方法によって指定できない場合には、ユーザは、1つのURLについて複数のIPアドレスを複数回に亘って登録する。或いは、複数の入力欄15を第1登録ページ13に設け、複数のIPアドレスを各入力欄15に入力することによって、複数のIPアドレスに対応するURLを登録するように設定するようにしても良い。

【0050】

その後、ユーザは、入力装置の操作によって登録ボタン16を押す。すると、Webブラウザ6は、第2登録ページ17の提供要求をWebサーバ4に送信する。この提供要求は、登録対象のURL、IPアドレス、及び第2登録ページ17のURLを含む。

【0051】

Webサーバ4のHTTPサーバ7は、第2登録ページ17の提供要求を受け取ると、この提供要求をURL管理部8に与える。URL管理部8は、登録対象のURL及びIPアドレスをIPアドレス-URL対応データベース10に格納する。

【0052】

図3は、IPアドレス-URL対応データベース10の例を示す説明図である

。IPアドレス－URL対応データベース10は、IPアドレスとこれに対応するURLとを含むレコードを保持するテーブルを格納している。IPアドレス－URL対応データベース10に格納されたURLは、IPアドレスを検索キーとして取り出される。

【0053】

なお、IPアドレス中の“*”で表現された箇所は、任意のバイトを示す。例えば、図3に示されたIPアドレス“172.22.*.*”は、下位の2バイトが任意であることを示す。

【0054】

図1に戻って、URL管理部8は、第2登録ページ17のURLに基づき、対応するHTMLファイルをHTMLデータベース12から取り出し、HTTPサーバ7に与える。HTTPサーバ7は、受け取ったHTMLファイルをWebブラウザ6に転送する。

【0055】

Webブラウザ6は、Webサーバ4から受け取ったHTMLファイルに基づき、第2登録ページ17を表示装置に表示する。このとき、HTMLファイルに関連するイメージファイル等をWebサーバ4から受け取り、Webページに反映する。

【0056】

図4は、第2登録ページ17の画面表示例を示す図である。第2登録ページ17は、登録対象のURLの入力欄18と、このURLのタイトルの入力欄19と、登録ボタン20とを掲載する。

【0057】

ユーザは、第1登録ページ13で入力したURLを入力欄18に入力し、入力したURLのタイトル(インデックス)を入力欄19に入力する。タイトルは、URLの内容を示す文字列であり、ユーザがWebページを特定するための指標となる。

【0058】

その後、ユーザは、入力装置の操作によって登録ボタン20を押す。すると、

Webブラウザ6は、登録対象のURLと、URLのタイトルをWebサーバ4に送信する。

【0059】

なお、本実施形態では、第1登録ページ13と第2登録ページ17とを独立したWebページとして提供する。この代わりに、第1登録ページ13と第2登録ページ17とを組み合わせた1つのWebページがユーザに提供されるようにしても良い。

【0060】

Webサーバ4のHTTPサーバ7は、登録対象のURLとそのタイトルを受信すると、これらをURL管理部8に与える。URL管理部8は、HTTPサーバ7から受け取ったURL及びタイトルをURLデータベース11に格納する。

【0061】

図5は、URLデータベース11の例を示す説明図である。URLデータベース11は、URLとそのタイトルとを含むレコードを保持するテーブルを格納している。URLデータベース11に格納されたタイトルは、URLを検索キーとして取り出される。

【0062】

以上の処理によって、登録対象のURL、アクセス場所に相当する送信元のIPアドレス、及びURLのタイトルが、Webサーバ4に登録される。即ち、アクセス場所に応じた情報がWebサーバ4にアップロードされる。URLデータベース11に格納されたURLは、ユーザによって使用されるURLのリストを構成する。このように、ユーザは、使用頻度が高いURLをWebサーバ4に登録しておくことができる。

【0063】

また、ユーザは、IPアドレス-URL対応データベース10及びURLデータベース11の登録内容を更新(変更又は削除)する場合には、Webサーバ4から更新用のWebページ(更新ページ)をダウンロードし、更新ページに更新の内容を入力する。入力された更新内容がWebサーバ4に受信されると、URL管理部8は、更新内容に従って、IPアドレス-URL対応データベース10及び

URLデータベース11を更新する。

【0064】

これに対し、各データベース10,11の新規登録(作成)・更新用プログラムを作成してWebサーバ4に設定し、Webサーバ4の管理者がWebサーバ4を操作することにより、各データベース10,11についてIPアドレス、URL、タイトルの追加(新規登録)、変更、削除が実行されるようにしても良い。この場合には、クライアント側にデータベースを操作するアプリケーションを設ける必要はない。また、ユーザが使用可能なURLを管理者が制御することができる。但し、各データベース10,11の更新に関するユーザの利便性が損なわれる。

【0065】

なお、上述したIPアドレス-URL対応データベース10及びURLデータベース11の各レコードの要素のデータ長は、固定長であっても可変長であっても良い。

【0066】

また、本実施形態では、IPアドレス-URL対応データベース10とURLデータベース11とを独立したデータベースとして構成しているが、これらのデータベース10及び11は、物理的にも論理的にも1つのデータベースとして構成することができる。

【0067】

さらに、IPアドレス-URL対応データベース10及びURLデータベース11は、検索キーを用いてIPアドレスに対応するURL、URLに対応するタイトルを取り出すことができれば、どのようなデータ構造又はデータ形式を有していても良い。

【0068】

さらに、本実施形態では、IPアドレスとしてIPv4を例示しているが、IPv6でも良い。

【0069】

(コンテンツの提供)

次に、コンテンツの提供(Webサーバ4によるURLの提供処理)の際におけるコンテンツ提供システムの動作例を説明する。但し、以下に説明する動作例は、次のことを前提とする。即ち、自宅に設置されたクライアント1のIPアドレスは、“202.105.*.*”の範囲に属し、会社に設置されたクライアント2のIPアドレスは、“172.22.*.*”の範囲に属している。

【0070】

図6は、URLの提供処理の動作例を示すフローチャートである。最初に、ユーザが会社のクライアント2を操作してWebサーバ4からURLのリスト(コンテンツ)を受け取る場合(アクセス場所が会社である場合)について、図6に従って説明する。

【0071】

ユーザは、会社にてWebサーバ4に登録されたURLのリストを閲覧する場合には、クライアント2のWebブラウザ6を起動し、URLのリストが掲載されたWebページ(「リストページ」と称する)21(図8及び図10参照)のURL(この例では、“http://www.homepage2.nifty.com/urllist/”)を指定する。

【0072】

すると、Webブラウザ6は、リストページ21のURLと、クライアント2のIPアドレス(送信元IPアドレス(送信元アドレス))とを含むリストページ21の提供要求を生成し、送信する。送信された提供要求は、リストページ21のURLに従って、Webサーバ4へ転送される(ステップS1)。

【0073】

Webサーバ4のHTTPサーバ4は、提供要求を受信すると、受信した提供要求をURL管理部8に与える。URL管理部8は、提供要求を受け取ると、以下のステップS2及びステップS3において、リストページ21のHTMLファイルの生成(作成)処理を実行する。

【0074】

HTMLファイルの生成処理は、以下のようにして開始するように設定することができる。例えば、HTMLデータベース12にリストページ21のURLと生成処理の開始コマンドとを関連づけて登録しておき、URL管理部8がリスト

ページ21のURLに基づいてHTMLデータベース12から開始コマンドを取得することによって開始する。或いは、リストページ21のURLが生成処理の開始コマンドとして機能するように構成する。

【0075】

URL管理部8は、生成処理を開始すると、提供要求の送信元IPアドレスを抽出する(ステップS2)。次に、URL管理部8は、送信元IPアドレスに対応するURLをIPアドレス-URL対応データベース10から取り出す。この例では、URL管理部8は、IPアドレス“172.22.*.*”に対応するURLとして“http://www.abc.def.fujisu.co.jp”，“http://www.ghi.fujisu.co.jp/ipgl”，及び“http://www.homepage2.nify.com”を取り出す。

【0076】

次に、URL管理部8は、取り出したURLに対応するタイトルをURLデータベース11から取り出す。この例では、URL管理部8は、“業務部門のホームページ”，“法務部門のホームページ”，及び“プロバイダ情報”の各タイトルを取り出す。このようにして、URL管理部8は、リストページ(Webページ)21に含まれる情報を取得する。

【0077】

続いて、URL管理部8は、取り出したURL及びタイトルを含むリストページ21のHTMLファイルを生成する(ステップS3)。即ち、URL管理部8は、送信元IPアドレスに対応するURL及びそのタイトルを含むHTMLドキュメントのファイルを生成する。

【0078】

図7は、アクセス場所“会社”に相当するIPアドレス“172.22.*.*”に対応するリストページについてのHTMLドキュメントの例を示す図である。URL管理部8は、HTMLファイルを生成すると、生成したHTMLファイルをHTTPサーバ7に与える。

【0079】

HTTPサーバ7は、URL管理部8からHTMLファイルを受け取ると、受け取ったHTMLファイルを提供要求の送信元アドレスに従ってクライアント2

に転送する(ステップS4)。

【0080】

クライアント2のWebブラウザ6は、HTMLファイルを受け取ると、受け取ったHTMLファイルの記述に従ってリストページ21を表示装置に表示する(ステップS5)。

【0081】

図8は、ユーザが会社からアクセスした場合におけるリストページ21の画面表示例を示す図である。図8において、リストページ21は、コンテンツとして、クライアント2のIPアドレスに対応するURLのリストを掲載する。

【0082】

具体的には、リストページ21は、URLのリストとして、URLのタイトルを掲載する。図8の例では、URLデータベース11から取り出された“業務部門のホームページ”，“法務部門のホームページ”，及び“プロバイダ情報”が表示されている。掲載されたURLのタイトルを示す文字列は、Webページのインデックスとして機能する。掲載された各タイトルには、対応するURLが埋め込まれている。

【0083】

ユーザは、リストページ21を閲覧し、入力装置を用いて、所望のURLのタイトルをマウスクリック等によって指定することができる。タイトルが指定されると、Webブラウザ6は、指定されたタイトルに埋め込まれたURLをWebページの提供要求としてインターネット3へ送出する。これによって、ユーザは、指定したタイトルに対応するWebページ(Webサイト)にアクセスすることができる。

【0084】

一方、ユーザが自宅においてクライアント1を操作し、リストページ21を閲覧する場合も、ユーザは、クライアント1のWebブラウザ6を操作し、リストページ21のURLを指定する。すると、Webブラウザ6は、クライアント1のIPアドレス(“202.105.*.*”)を含むリストページ21の提供要求をWebサーバ4に与える。

【0085】

すると、Webサーバ4は、上記した動作とほぼ同様の動作(ステップS2～S4)を行う。即ち、Webサーバ4のURL管理部8は、クライアント1のIPアドレス(“202.105.*.*”)を提供要求から抽出する(ステップS2)。

【0086】

次に、URL管理部8は、抽出したIPアドレスに対応するURLとして“http://www.homepage2.nifty.com/”，及び“http://www.asu.com/rgj/yokohama/”をIPアドレス－URL対応データベース10から取り出す。

【0087】

次に、URL管理部8は、取り出したURLに対応するタイトル“プロバイダ情報”及び“横浜グルメ情報”をURLデータベース11から取り出す。そして、URL管理部8は、取り出したURL及びタイトルを用いて図9に示すHTMLドキュメントを生成する(ステップS3)。

【0088】

その後、生成されたHTMLドキュメントのファイル(HTMLファイル)は、HTTPサーバ7に渡され、HTTPサーバ7は、受け取ったHTMLファイルをクライアント1に転送する(ステップS4)。

【0089】

クライアント1のWebブラウザ6は、HTMLファイルを受け取ると、受け取ったHTMLファイルの記述に従ってリストページ21を表示装置に表示する(ステップS5)。

【0090】

図10は、ユーザが自宅からアクセスした場合におけるリストページ21の画面表示例を示す図である。図10において、リストページ21は、コンテンツとして、クライアント2のIPアドレスに対応するURLのリストを掲載する。

【0091】

図10の例では、リストページ21は、URLのタイトルを示す文字列“プロバイダ情報”，及び“横浜グルメ情報”を掲載する。ユーザは、上記した手法に

より、リストページ 2 1 に掲載された所望の URL (Web ページ) にアクセスすることができる。

【 0 0 9 2 】

〈第 1 実施形態の作用〉

第 1 実施形態によるコンテンツ提供方法(コンテンツ提供システム)によると、Web サーバ 4 は、ユーザのインターネット 3 へのアクセス場所情報(クライアントの IP アドレス)に従って、内容が異なるリストページ 2 1 をユーザに提供する。即ち、Web サーバは、クライアントのアクセス場所に応じた情報をクライアントに提供する。

【 0 0 9 3 】

これによって、ユーザが会社にてリストページ 2 1 を閲覧する場合には、提供されるリストページ 2 1 は、会社では閲覧しない Web ページ “横浜グルメ情報” がその内容から除かれる。一方、ユーザが自宅にてリストページ 2 1 を閲覧する場合には、自宅では閲覧しない Web ページ “業務部門のホームページ”，及び “法務部門のホームページ” がその内容から除かれる。

【 0 0 9 4 】

従って、ユーザは、自宅及び会社において、必要のない URL を受け取らなくて済む。また、無駄な情報がリストページ 2 1 の内容から除かれることで、表示装置の表示スペースの有効利用，Web サーバ 4 からクライアント 1 又は 2 に転送されるデータ量の軽減等を図ることができる。

【 0 0 9 5 】

上述した第 1 実施形態では、各アクセス場所(自宅に設置されたクライアントの IP アドレスと会社に設置されたクライアントの IP アドレスの双方)について IP アドレスと URL との対のデータを登録した IP アドレス－URL 対応データベース 1 0 を作成し、要求元のクライアントのアクセス場所に応じて、そのデータベースに登録されている URL の提供内容(URL リストの内容)を変更しているが、次のようにしても良い。

【 0 0 9 6 】

クライアントからの提供を受けて提供する URL リストを登録したデータベー

ス(URLリスト登録データベース)の他に、或る(特定の)アクセス場所(IPアドレス)に関するURLリストを記録した制御用データベースをWebサーバに設けておく。

【0097】

そして、Webサーバは、特定のアクセス場所のクライアントからの提供要求を受け取った場合に制御用データベースに記録されたURLリストを要求元のクライアントに提供し、特定のアクセス場所以外のクライアントからの提供要求を受け取った場合にURLリスト登録データベースに記録されたURLリストを提供する。或いは、Webサーバは、特定のアクセス場所以外のクライアントからの提供要求を受け取った場合に制御用データベースに記録されたURLリストを要求元のクライアントに提供し、特定のアクセス場所のクライアントからの提供要求を受け取った場合にURLリスト登録データベースに記録されたURLリストを提供する。このように、URLリスト登録データベースと別個に制御用データベースを設ける場合には、IPアドレス—URL対応データベース10を、単にURLを記録した構造に変更することができる。

【0098】

また、第1実施形態では、クライアントからの要求(提供要求)に対して、そのアクセス場所で利用可能なURL(のタイトル)のみのリストをクライアントに提供するように構成している。即ち、提供要求及びアクセス場所情報に対応する情報のみをクライアントに送信するようにしている。本発明はこれに限定されるものではなく、クライアントからの提供要求に対応する全てのURLのリストをクライアントに送信し、クライアントのアクセス場所で利用可能なURL(アクセス場所情報に対応する情報)と、利用できないURL(アクセス場所情報に対応しない情報)とをクライアントのユーザが区別可能な態様で提示されるようにしても良い。即ち、「アクセス場所に応じて利用可能な情報を利用不可能な情報と区別して表示する」ようにすることもできる。例えば、クライアントにて、利用可能なURL(のタイトル)と利用できないURL(のタイトル)との一方に目印をつけたり、表示態様を変更したり(例えば、一方を反転表示する等、異なる色で表示する)、グループ分けされた態様で表示したりするようにすれば良い。表示態

様はクライアントのユーザが利用の可能／不可能を把握できるようにされていれば、上記した表示形態に限定されるものではない。このようにすれば、ユーザがそのアクセス場所に応じて利用可能な情報を把握することができ、無駄な操作をしなくて済む。

【0099】

〔第2実施形態〕

次に、本発明の第2実施形態を説明する。第2実施形態は、第1実施形態と共通点を有するので、主として相違点について説明する。第2実施形態は、Webサーバの構成が第1実施形態と異なる。

【0100】

図11は、第2実施形態におけるWebサーバ40の構成例を示す図である。図11において、Webサーバ40は、HTTPサーバ7(受信部及び送信部に相当)と、HTTPサーバ7と接続されたURL管理部8A(取得部に相当)と、URL管理部8Aと接続されたHTMLデータベース12A(データベースに相当)とを備えている。

【0101】

HTMLデータベース12Aは、リストページ21(図8及び図10参照)のURLと、IPアドレス(送信元IPアドレス)と、これらのURL及びIPアドレスに対応するHTMLファイルとを含むレコードをテーブル形式で保持している。図11に示す例では、HTMLデータベース12Aは、会社を設置されたクライアント2(IPアドレス“172.22.*.*)に対応するHTMLファイル“urllist#01.html”を格納している。HTMLファイル“urllist#01.html”は、図7に示した内容を有している。

【0102】

また、HTMLデータベース12Aは、自宅に設置されたクライアント1(IPアドレス“202.105.*.*)に対応するHTMLファイル“urllist#02.html”を格納している。HTMLファイル“urllist#02.html”は、図9に示した内容を有している。

【0103】

なお、HTMLデータベース12Aに登録されるHTMLファイルは、ユーザがHTMLファイルをクライアント1又はクライアント2を操作してWebサーバ40にアップロードされたものであっても良く、Webサーバ40の管理者がユーザからの依頼に基づいてWebサーバ40を操作して登録されたものであっても良い。このとき、登録されるHTMLファイルは、管理者が作成したものであってもユーザが作成したものであっても良い。

【0104】

また、第2実施形態におけるHTMLデータベース12Aは、URL及びIPアドレスに基づいて対応するHTMLファイルを取り出すことができるようにされていれば、どのようなデータ構造を有していても良い。

【0105】

Webサーバ40は、ユーザからのリストページ21の提供要求を受信する。提供要求は、リストページ21のURLと、送信元のクライアントのIPアドレス(送信元IPアドレス)とを含んでいる。

【0106】

HTTPサーバ7は、受信した提供要求をURL管理部8Aに与える。URL管理部8Aは、提供要求からURLと送信元IPアドレスとを抽出し、抽出したURL及びIPアドレスに対応するHTMLファイルをHTMLデータベース12Aから取り出す。

【0107】

このとき、URL管理部8Aは、送信元IPアドレスがクライアント2のIPアドレスである場合には、HTMLファイル“urllist#01.html”を取得し、送信元IPアドレスがクライアント1のIPアドレスである場合には、HTMLファイル“urllist#02.html”を取得する。

【0108】

URL管理部8Aは、取得したHTMLファイルをHTTPサーバ7に与える。HTTPサーバ7は、受け取ったHTMLファイルに対応するクライアントへ転送する。

【0109】

これによって、上記した提供要求を送出したクライアントがクライアント 1 である場合には、クライアント 1 の表示装置には、Web ブラウザ 6 によって、図 8 に示したリストページ 2 1 が表示される。一方、提供要求を送出したクライアントがクライアント 2 である場合には、クライアント 2 の表示装置には、Web ブラウザ 6 によって、図 1 0 に示したリストページ 2 1 が表示される。

【 0 1 1 0 】

第 2 実施形態によっても、第 1 実施形態と同様に、アクセス場所(送信元アドレス)に応じたコンテンツ(URL リスト)が Web サーバ 4 からクライアントに提供され、第 1 実施形態と同様の効果を得ることができる。

【 0 1 1 1 】

なお、第 2 実施形態に示した構成は、以下のようなシステムに適用することができる。IP アドレスは、地域によって割り当てられるアドレスが異なっている。例えば、日本とアメリカとでは、異なる IP アドレスが割り当てられる。

【 0 1 1 2 】

これに鑑み、第 2 実施形態の HTML データベース 1 2 A に以下のデータを格納する。即ち、同一のコンテンツについて異なる言語で表現された複数の HTML ファイル(Web ページ)を用意し、HTML データベース 1 2 A に登録する。例えば、日本語で表現されたコンテンツを含む HTML ファイル(「日本語ファイル」と称する)と、英語で表現されたコンテンツを含む HTML ファイル(「英語ファイル」と称する)とを用意する。

【 0 1 1 3 】

日本語ファイル及び英語ファイルは、共通の URL と関連づけられる。さらに、日本語ファイルは、日本に割り当てられた IP アドレス(の範囲：例えば、“2 0 2 . * . * . *”)と関連づけられ、英語ファイルは、アメリカに割り当てられた IP アドレス(の範囲：例えば、“1 9 8 . * . * . *”)と関連づけられる。

【 0 1 1 4 】

その後、Web サーバ 4 0 が当該 Web ページの提供要求(URL)を受信した場合には、URL 管理部 8 A によってその提供要求の送信元 IP アドレスに従っ

て、日本語ファイルと英語ファイルとの一方がHTMLデータベース12Aから取り出され、提供要求の送信元に転送される。

【0115】

このようにすれば、アクセス場所(IPアドレス)に応じた言語で表現されたコンテンツが掲載されたWebページをクライアントに提供することができる。即ち、日本からのアクセスでは、日本語ファイルに基づくWebページが提供され、アメリカからのアクセスでは、英語ファイルに基づくWebページが提供される。従って、従来のように、英語サイトと日本語サイトとが用意されているWebサイトにおいて、日本語サイトと英語サイトとの一方にアクセスした後、他方にジャンプするといった手間を省くことが可能となる。

【0116】

第1及び第2実施形態に記載した構成は、本発明の目的を逸脱しない範囲で適宜組み合わせることができる。

【0117】

〔その他〕

本発明は、以下のように特定することができる。

(付記1) 情報をクライアントにネットワークを通じて提供するサーバであって、前記クライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信部と、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得部と、取得された情報を前記クライアントに送信する送信部と、を含む情報提供サーバ。

(付記2) クライアントに提供すべき複数の情報を格納したデータベースをさらに含み、前記取得部は、前記アクセス場所情報に対応する情報を前記データベースから取得する、付記1記載の情報提供サーバ。

(付記3) 前記取得部は、取得した情報を含むウェブページのファイルを作成し、前記送信部は、作成されたファイルを前記クライアントに送信する、付記2記載の情報提供サーバ。

(付記4) 内容が異なる複数のウェブページのファイルを格納したデータベースをさらに含み、前記取得部は、前記アクセス場所情報に対応するファイルを前記

データベースから取得し、前記送信部は、取得されたファイルを前記クライアントに送信する、付記 1 記載の情報提供サーバ。

(付記 5) 前記情報は、ウェブページの格納場所を示す情報である、付記 1 記載の情報提供サーバ。

(付記 6) 前記アクセス場所情報は、前記提供要求の送信元アドレスである、付記 1 記載の情報提供サーバ。

(付記 7) 前記データベースは、異なる言語で表現された同一の情報を夫々含む複数のウェブページのファイルを格納する、付記 4 記載の情報提供サーバ。

(付記 8) サーバが情報をクライアントにネットワークを通じて提供する方法であって、前記クライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信ステップと、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得ステップと、取得した情報を前記クライアントに送信する送信ステップと、を含むサーバの情報提供方法。

(付記 9) 前記取得ステップでは、前記アクセス場所情報に対応する情報を、クライアントに提供すべき複数の情報を格納したデータベースから取得する、付記 8 記載のサーバの情報提供方法。

(付記 1 0) 前記取得ステップでは、取得した情報が掲載されたウェブページのファイルを作成し、前記送信ステップでは、作成したファイルを前記クライアントに送信する、付記 9 記載のサーバの情報提供方法。

(付記 1 1) 前記取得ステップでは、前記アクセス場所情報に対応するファイルを、掲載内容が異なる複数のウェブページのファイルを格納したデータベースから取得し、前記送信ステップでは、取得したファイルを前記クライアントに送信する、付記 8 記載のサーバの情報提供方法。

(付記 1 2) クライアントと、このクライアントにネットワークを通じて情報を提供するサーバとを含むシステムであって、前記クライアントは、このクライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記サーバに送信し、前記サーバは、前記提供要求を受信し、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得し、取得した情報を前記クライアントに

送信する、情報提供システム。

（付記 1 3）サーバが情報をクライアントにネットワークを通じて提供する処理を実行するためのプログラムを記録した記録媒体であって、サーバを構成するコンピュータに、前記クライアントの前記ネットワークに対するアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信ステップと、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得ステップと、取得したコンテンツを前記クライアントに送信する送信ステップと、を実行させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

（付記 1 4）前記取得ステップでは、前記アクセス場所情報に対応する情報を、クライアントに提供すべき複数の情報を格納したデータベースから取得する、前記プログラムを記録した付記 1 3 記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

（付記 1 5）前記取得ステップでは、取得した情報が掲載されたウェブページのファイルを作成し、前記送信ステップでは、作成したファイルを前記クライアントに送信する、前記プログラムを記録した付記 1 4 記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

（付記 1 6）前記取得ステップでは、前記アクセス場所情報に対応するファイルを、掲載内容が異なる複数のウェブページのファイルを格納したデータベースから取得し、前記送信ステップでは、取得したファイルを前記クライアントに送信する、前記プログラムを記録した付記 1 3 記載のコンピュータ読取可能な記録媒体。

（付記 1 7）サーバが情報をクライアントにネットワークを通じて提供する処理を実行するためのプログラムであって、サーバを構成するコンピュータに、前記クライアントの前記ネットワークに対するアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信ステップと、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得ステップと、取得したコンテンツを前記クライアントに送信する送信ステップと、を実行させるプログラム。

（付記 1 8）前記取得ステップでは、前記アクセス場所情報に対応する情報を、クライアントに提供すべき複数の情報を格納したデータベースから取得する、付記 1 7 記載のプログラム。

(付記 1 9) 前記取得ステップでは、取得した情報が掲載されたウェブページのファイルを作成し、前記送信ステップでは、作成したファイルを前記クライアントに送信する、付記 1 8 記載のプログラム。

(付記 2 0) 前記取得ステップでは、前記アクセス場所情報に対応するファイルを、掲載内容が異なる複数のウェブページのファイルを格納したデータベースから取得し、前記送信ステップでは、取得したファイルを前記クライアントに送信する、付記 1 7 記載のプログラム。

【 0 1 1 8 】

【発明の効果】

本発明によれば、ユーザがそのアクセス場所に応じた情報を受け取ることができ、無駄な情報を受け取らなくて済む。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 情報提供システムの構成例を示す図

【図 2】 第 1 登録ページの画面表示例を示す図

【図 3】 I P アドレス - U R L 対応データベースの例を示す説明図

【図 4】 第 2 登録ページの画面表示例を示す図

【図 5】 U R L データベースの例を示す説明図

【図 6】 情報提供システムの動作例を示すフローチャート

【図 7】 会社からアクセスした場合に生成される HTML ファイルの例を示す図

【図 8】 会社からアクセスした場合に提供されるリストページの画面表示例を示す図

【図 9】 自宅からアクセスした場合に生成される HTML ファイルの例を示す図

【図 1 0】 自宅からアクセスした場合に提供されるリストページの画面表示例を示す図

【図 1 1】 第 2 実施形態における W e b サーバの構成例を示す図

【符号の説明】

- 1, 2 クライアント
- 3 インターネット(ネットワーク)
- 4, 4 0 W e b サーバ(情報提供サーバ)

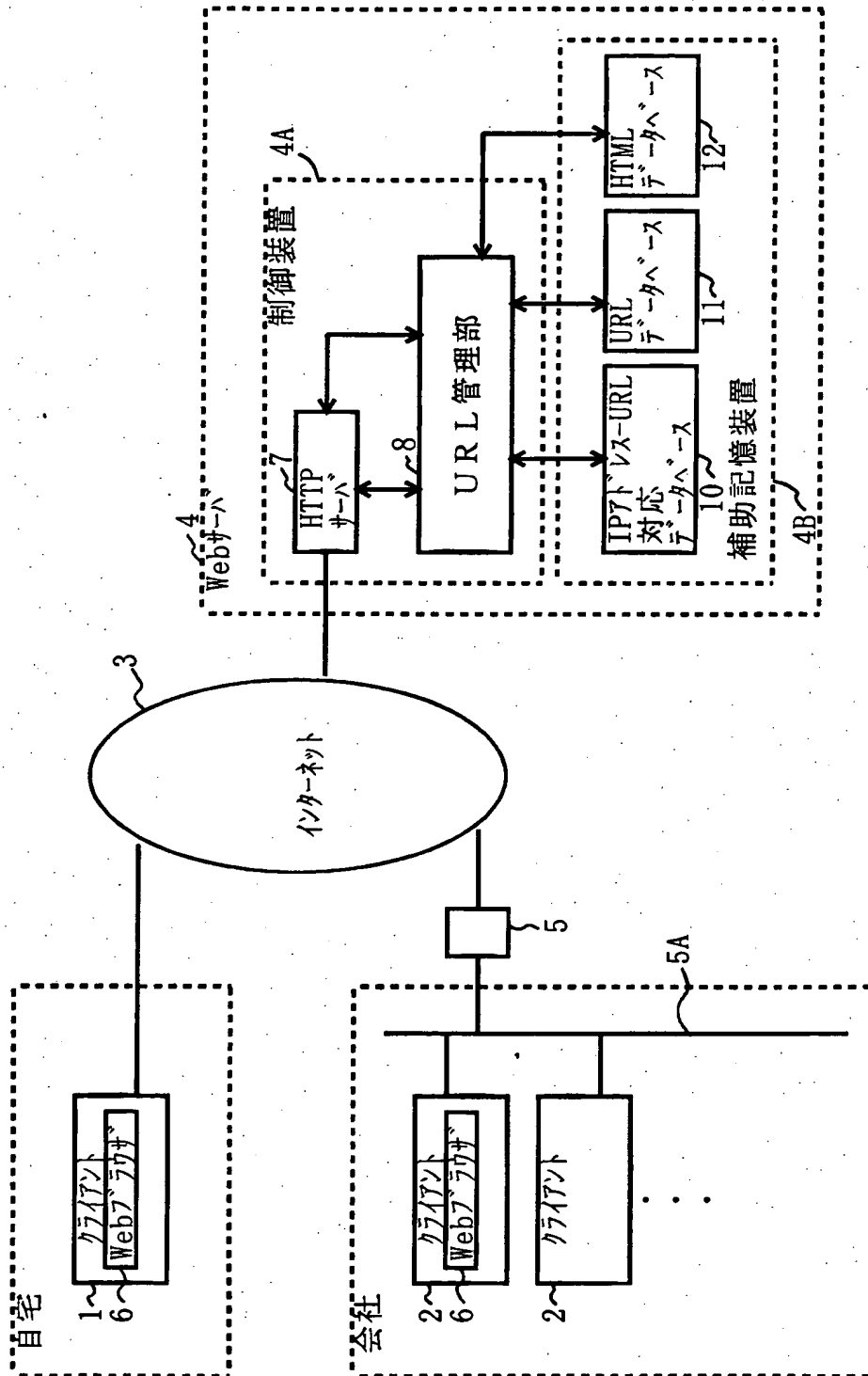
- 4 A 制御装置
- 4 B 補助記憶装置
- 6 W e b ブラウザ
- 7 H T T P サーバ
- 8, 8 A U R L 管理部
- 1 0 I P アドレス - U R L 対応データベース
- 1 1 U R L データベース
- 1 2, 1 2 A H T M L データベース
- 1 3 第 1 登録ページ
- 1 7 第 2 登録ページ
- 2 1 リストページ

【書類名】

図面

【図 1】

情報提供システムの構成例を示す図



【図 2】

第 1 登録ページ

Book Mark マネージャー

ファイル (F) 編集 (E) 表示 (V) ジャンプ (G) Communicator (C) ヘルプ (H)

戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイド 印刷 対話型 Shop 停止

ブックマーク 場所: http://www.homepage2.nifty.com/regist1/

Instant Message 新着 お勧め マネージャ

新規登録
更新・削除

URL:

アクセス可能なIPアドレス:

登録

ドキュメント: 完了。

【図3】

IPアドレス-URL対応データベース

10

IP アドレス	URL
172.22.*.*	http://www.abc.def.fujisu.co.jp
172.22.*.*	http://www.ghi.fujisu.co.jp/ipgl/
..*.*	http://www.homepage2.nify.com/
202.105.*.*	http://www.asu.com/rgj/yokohama/

【図 4】

第 2 登録ページ

Book Mark マネージャー	
ファイル (F) 編集 (E) 表示 (V) ジャンプ (G) Communicator (C) ヘルプ (H)	
戻る 次 再読み込み ホーム 検索 ガイ 印刷 ヘルプ Shop 停止	
ブックマーク 場所: http://www.homepage2.nifty.com/regist2/	
Instant Message 新着 お勧めメンバー	
新規登録 更新・削除	<div style="text-align: center;">18</div> URL: <input type="text"/> タイトル: <input type="text"/> <div style="text-align: center;">19</div> <div style="text-align: right;"> <input type="button" value="登録"/> </div> <div style="text-align: right;">20</div>

17

【図 5】

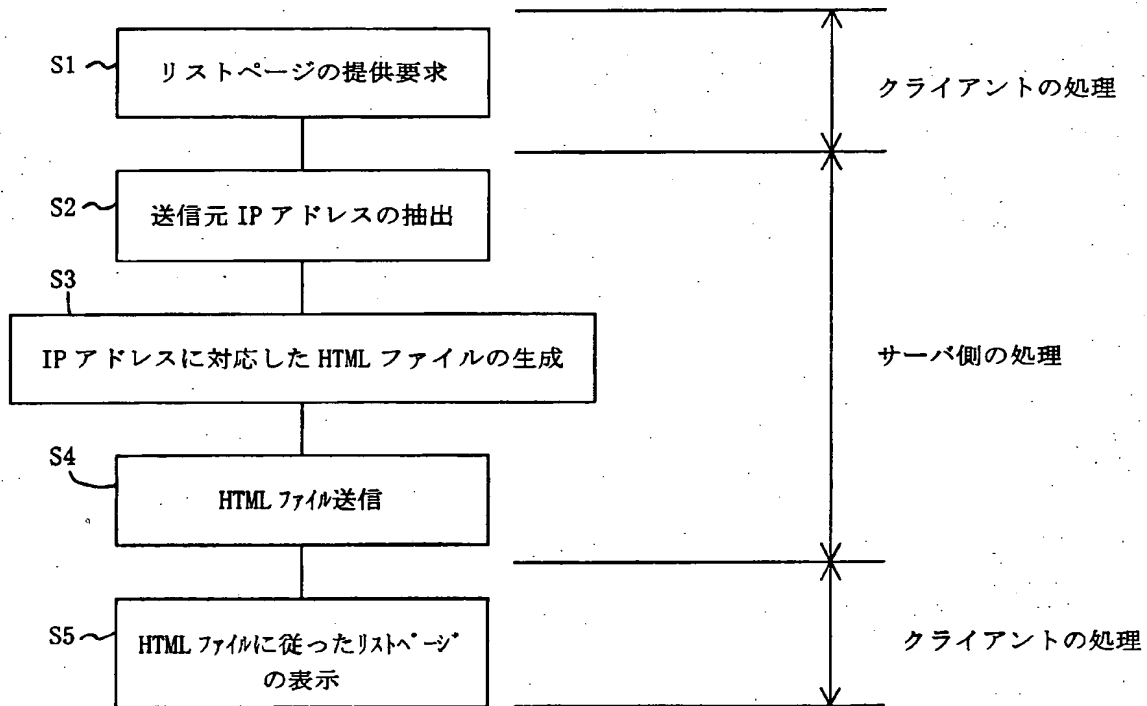
URLデータベース

11

URL	内容 (タイトル)
http://www.abc.def.fujisu.co.jp	業務部門のホームページ
http://www.ghi.fujisu.co.jp/ipgl/	法務部門のホームページ
http://www.homepage2.nify.com/	プロバイダ情報
http://www.asu.com/rgj/yokohama/	横浜グルメ情報

【図 6】

情報提供システムの動作例を示すフローチャート



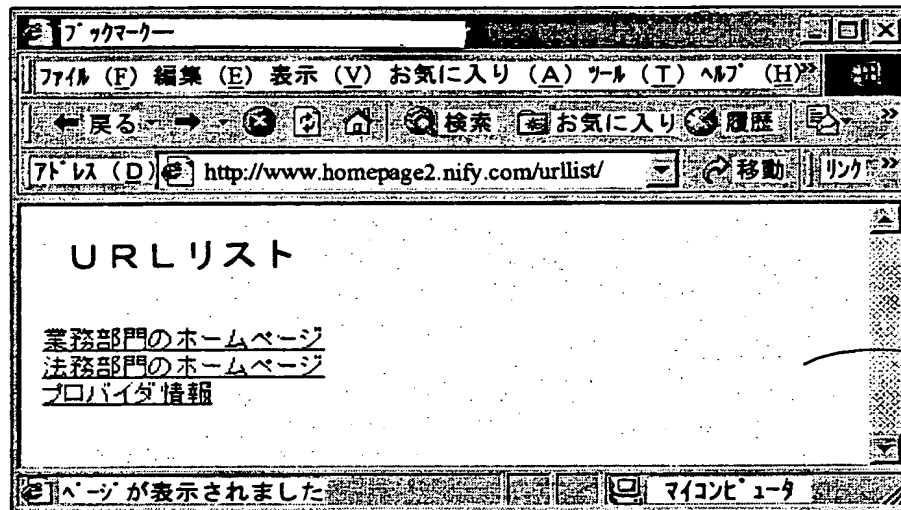
【図 7】

会社 (172.22.*.*) からアクセスした場合に生成される HTML の例

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 4.0 transitional//en">
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <meta name="ROBOTS" content="NOINDEX, NOFOLLOW">
  <title>ブックマーク</title>
</head>
<body>
<dl>
<h1>
ブックマーク</h1>
<dt>
<a href="http://www.abc.def.fujisu.co.jp">業務部門のホームページ</a></dt>
<dt>
<a href="http://www.ghi.fujisu.co.jp/ipgl/">法務部門のホームページ</a></dt>
<dt>
<a href="http://www.homepage2.nify.com">プロバイダ情報</a></dt>
</dl>
</body>
</html>
```


【図 8】

会社からアクセスした場合のリストページの
画面表示例



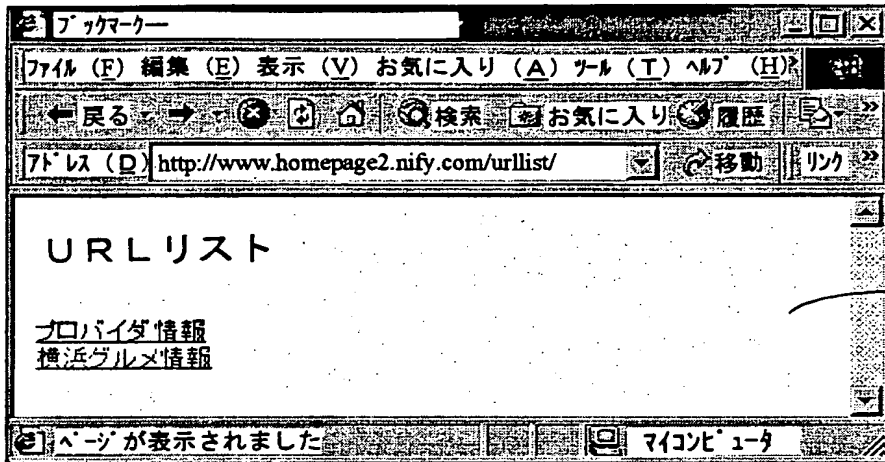
【図 9】

自宅 (202.105.*.*) からアクセスした場合に生成される HTML の例

```
<!doctype html public "-//w3c//dtd html 4.0 transitional//en">
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <meta name="ROBOTS" content="NOINDEX, NOFOLLOW">
  <title>ブックマーク</title>
</head>
<body>
<dl>
<h1>
ブックマーク</h1>
<dt>
<a href="http://www.homepage2.nifty.com">プロバイダ情報</a></dt>
<dt>
<a href="http://www.asu.com/rgj/yokohama/">横浜グルメ情報</a></dt>
</dl>
</body>
</html>
```

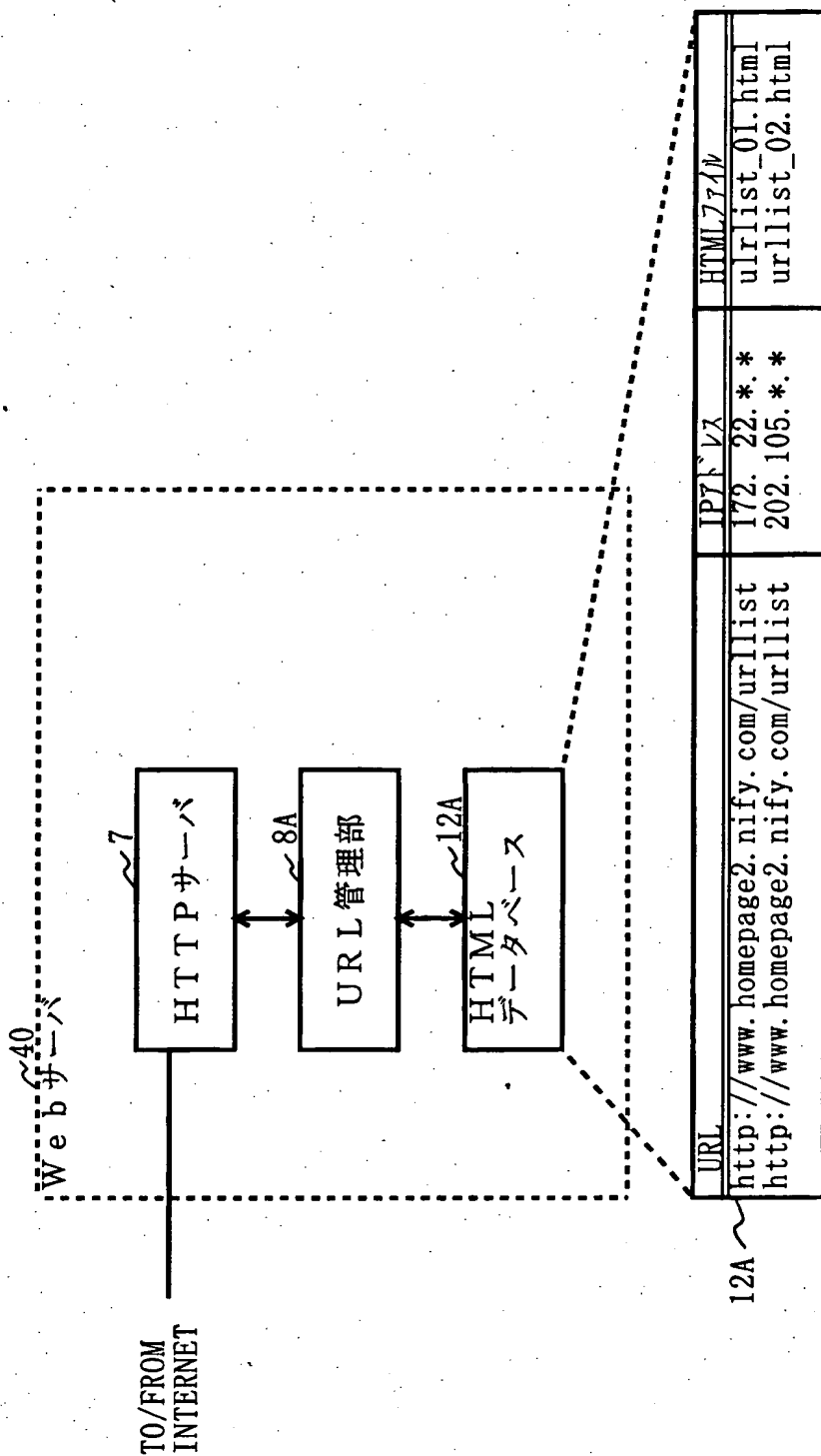
【図10】

自宅からアクセスした場合のリストページの
画面表示例



【図 11】

第 2 実施形態における Web サーバの構成例を示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザがそのアクセス場所に応じた情報を受け取ることが可能な情報提供サーバを提供する。

【解決手段】 本発明は、情報をクライアントにネットワークを通じて提供するサーバであって、前記クライアントの前記ネットワークへのアクセス場所に係るアクセス場所情報を含む、情報の提供要求を前記クライアントから受信する受信部と、前記アクセス場所情報に対応する情報を取得する取得部と、取得された情報を前記クライアントに送信する送信部と、を含む。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社